

# 2026年度 大学院(博士後期課程) 入学試験問題

(科目名:第1群 ①英語)

(文学研究科 全専攻共通)

2026年2月23日(月)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

I. 次の英文を読んで、以下の設問に答えなさい。

【引用部分は削除しています】

(Adapted from Desmond Morris, *The Naked Ape*, pp. 19-21)

設問 1. 下線部①が指す内容を本文に即して日本語で述べなさい。

設問 2. 下線部②の理由を本文に即して述べなさい。

設問 3. 下線部③と④を日本語に訳しなさい。

II. 以下の英文を読んで、リングルマン(Ringelmann)が提唱した“social loafing”について100字以内の日本語で要約しなさい。

【引用部分は削除しています】

(Adapted from Robert Hickling and Shun Morimoto, *English in Tune*, p.28)

III. Is religion still important in the modern world? Write your answer in English, using around 150 words.



III.

得点

二〇二三年度 大学院(博士後期課程) 入学試験問題

(文学研究科 真宗学専攻)

(科目名:第2群 ② 仏教漢文(真宗学))

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2026年2月23日(月)

※罫線縦書の解答用紙に、問題番号を記して解答を記入しなさい。

問一 次の(一)～(三)の漢文を書き下し、現代語に訳しなさい。

- (一) 無量寿仏光明顯赫、照耀十方諸仏国土、莫不聞焉。不但我今称其光明。一切諸仏・声聞・緣覺・諸菩薩衆、咸共嘆譽、亦復如是。若有衆生、聞其光明威神功德、日夜称說、至心不斷、隨意所願、得生其国、為諸菩薩、声聞大衆、所共嘆譽称其功德。至其然後得仏道時、普為十方諸仏・菩薩、嘆其光明、亦如今也。
- (二) 說願偈總持、与仏教相應者、持名不散不失。總名以少撰多。偈言五言句數。願名欲來往生。說謂說諸偈論。總而言之、說所願生偈、總持仏經、与仏教相應。相應者、譬如函蓋相称也。
- (三) 若能如上念念相續、畢命為期者、十即十生、百即百生。何以故。無外雜緣得正念故、与仏本願得相應故、不違教故、隨順仏語故。若欲捨尊修雜業者、百時希得一二、千時希得三五。何以故。乃由雜緣乱動失正念故、与仏本願不相應故、与教相違故、不順仏語故、係念不相續故、憶想間斷故、迴願不懇重真実故、貪・瞋・諸見煩惱來間斷故、無有慚愧・懺悔心故。

問二 次の漢文を読み、以下の設問(一・二)に答えなさい。

一『双卷經』三誓之業雖有淺深、然通皆云、一向專念無量寿仏。三冊八願中於念仏門別發一願云、乃至十念、若不生者、不取正覺。四『觀經』、極重惡人無他方便、唯称念仏得生極樂。五同『經』云、若欲至心生西方者、先当觀於一丈六尺在池水上。六同『經』云、光明遍照十方世界念仏衆生、攝取不捨。

設問(一) 全文を書き下し、現代語に訳しなさい。

設問(二) 親鸞による傍線部の依用について、知るところを述べなさい。

二〇三六年度 大学院(博士後期課程) 入学試験問題

(文学研究科 仏教学専攻)

(科目名:第2群 ② 仏教漢文(仏教学))

2026年2月23日(月)

受験番号	氏名
------	----

【問題】 次の漢文を読んで、以下の問に答えなさい。

佛告迦葉。善男子。譬如王家有大力士。其人肩間有金剛珠。與餘力士拚力相撲。而彼力士以頭觸之。其額上珠尋沒膚中。都不自知是珠所在。其處有瘡。即命良醫欲自療治。時有明醫善知方藥。即知是瘡因珠入體是珠入皮即便停住。是時良醫尋問力士。卿額上珠為何所在。力士驚答。大師醫王。我額上珠乃失去耶。是珠今者為何所在。將非幻化。憂愁啼哭。是時良醫慰喻力士。汝今不應生大愁苦。汝因鬪時實珠入體。今在皮裏影現於外。汝等鬪時瞋恚善盛。珠陷入體故不自知。是時力士不信醫言。若在皮裏膿血不淨何緣不出。若在筋裏不應可見。汝今云何欺誑於我。時醫執鏡以照其面。珠在鏡中明了顯現。力士見已心懷驚怪生奇特想。善男子。一切衆生亦復如是。不能親近善知識故。雖有佛性皆不能見。而為貪婬瞋惡愚癡之所覆蔽。故墮地獄畜生餓鬼阿修羅旃陀羅刹利婆羅門毘舍首陀。生如是等種種家中。因心所起種種業緣。雖受人身雙盲瘡瘻拘躄癱跛。於二十五有受諸果報。貪婬瞋惡愚癡覆心不知佛性。如彼力士實珠在體謂呼失去。衆生亦爾。不知親近善知識故。不識如來微密寶藏。修學無我譬如非聖雖說有我亦復不知我之真性。我諸弟子亦復如是。不知親近善知識故。修學無我。亦復不知無我之處。尚自不知無我真性。況復能知有我真性。善男子。如來如是說諸衆生皆有佛性。譬如良醫示彼力士金剛寶珠。是諸衆生為無量億諸煩惱等之所覆蔽。不識佛性。若盡煩惱暫時乃得證知明了。如彼力士於明鏡中見其實珠。善男子。如來祕藏如是無量不可思議。

(『大般涅槃經』卷八 大正一一・六四九上(中))

【問一】 この漢文の大意を述べなさい。

【問二】 傍線部を書き下し文にして、和訳しなさい。

二〇二六年度大学院(博士後期課程)入学試験問題

(文学研究科 日本史学専攻)

(科目名:第2群 ④古典漢文(日本史学))

2026年2月23日(月)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

外国語筆答試験(日本史学専攻)(1/4)

次の(一)〜(四)の史料問題のうち二題を選び、各設問に答えなさい。(選択した番号を明記すること)

(一) 次の史料を読んで設問に答えなさい。

(A) 凡市。恒以午時集。日入前。擊鼓三度散。每度各九下。

〔養老關市令〕

(B) 東西市司西市司准此。

正二人。兼。町屋交易。器物賣買。度置他真。売買估働。禁禁非違事。佑一人。令史一人。僮長五人。物部廿人。使部十人。直丁二人。

〔養老職員令〕

(C) 相模国司藤 造東大寺司

請国司調部地働事

右、得彼司天平勝宝六年正月廿三日陳稱、以天平廿年、得彼国司、割得伴地、興造倉屋、為寺尤便、願計彼便、欲得相伝、加以、前日寺作西三倉屋、其勞稍多、儼不許相伝、將酬地働者、国依陳旨、問管八郡司、申云、今称寺地者、遠去朝廷、運送多勞、望請備物欲買便地者。今依郡司解、請備如件、仍錄事状、以陳、天平勝宝七歲五月七日從六位下行大目鬼室虫麻呂

守從五位下藤原朝臣

正六位上行介紀朝臣 稻手

〔大日本古文書〕

(D) 相模国朝集使解 中売買地事

調部一町 在安八家三坊書 得仙錢陸拾貫文

右、得件錢働、売与造東大寺司既畢、但捺印文者、追將申送、仍錄事状、以解、

天平勝宝八歲二月六日雜掌足上郡主帳代文部人上

鎌倉郡司代外從八位上勳十等君子 伊勢方呂

御浦郡司代大田部直國成

国司史生正八位下茨田連藤毛智

同檢

長官 佐伯宿禰今毛人

主典 葛井連根道

〔大日本古文書〕

問一 史料(A)・(B)に記された東西市の組織と職掌、運営について、説明しなさい。

問二 史料(C)の全文を読み下し文(漢字かな交じり文)にしなさい。

問三 史料(D)を現代語訳しなさい。また、本史料と史料(C)との関係を説明しなさい。

問四 構線部①「調部」について、説明しなさい。

問五 構線部②「佐伯宿禰今毛人」について、説明しなさい。

問六 古代都城における東西市の歴史的変遷と意義について、説明しなさい。

二〇二六年度 大学院(博士後期課程) 入学試験問題

(文学研究科 日本史学専攻)

(科目名:第2群 ④古典漢文(日本史学))

2026年2月23日(月)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

外国語筆答試験 (日本史学専攻) (2/4)

(二) 次の史料を読んで設問に答えなさい。

和与

東寺領伊与国弓削嶋庄下地以下相分事

一 ①当嶋田畠山林堀延等下地所務以下、相分參分之若式畢、然若、於參分之式者、一田可為領家分、至參分之若者、一田可為地頭分矣、

一 ②網場參徳所内、若所嶋尻者、一田可為領所分、若所新浜浦者、一田可為地頭分、若所辺屋路嶋者、網以下所出口隨出来、領所并地頭可致等分沙汰焉

右、③当嶋所務以下条々、守正元・永仁御下知等、雜掌宋美与地頭代空勝備後離番訴陳、斷未來之煩、為停止當時之論、所令和与也、④堅可守以前条々和与之旨、更不可背之、若於違背之者、可被死罪科、仍和与之状如件、

乾元二年五月十八日

雜掌法橋宋美在判

地頭代左衛門尉佐房在判

〔鎌倉遺文〕

- 問一 傍線部①を読み下し文(漢字かな交じり文)に改めなさい。
- 問二 傍線部②を転記して、訓点を施しなさい。
- 問三 傍線部③を読み下し文(漢字かな交じり文)に改めなさい。
- 問四 傍線部④を転記して、訓点を施しなさい。
- 問五 右の史料全文を、現代語訳しなさい。

二〇二六年度 大学院(博士後期課程) 入学試験問題

(文学研究科 日本史学専攻)

(科目名第2群 ④ 古典漢文(日本史学))

2026年2月23日(月)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

外国語筆答試験 (日本史学専攻) (3/4)

(三) 次の史料を読んで設問に答えなさい。

定

- 一、<sup>①</sup>奉公人、<sup>②</sup>侍・中間・小者・あらし子に至る迄、去七月奥州江御出勢より以後、新儀二町人・百姓三成候者在之者、其町中、地下人として相改、一切をくへからず、若かくし置三付てハ、其一町一在所可被加御成敗事
- 一、在々百姓等、田畠を打捨、或あきない、或賃仕事ニ罷出輩有之者、そのものゝ事ハ不及申、地下中可為御成敗、并奉公をも不仕、田畠もつくらざるもの、代官・給人としてかたく相改、をくへからず、若於無其沙汰者、給人過意にハ、其在所めしあけるべし、為町人・百姓かくし置三おあてハ、其一郷同一町可為曲言事
- 一、<sup>③</sup>侍・小者ニよらず、其主に暇を不乞罷出輩、一切不可何能々相改、請人をたて可置事、但右者主人有之而、於相届者、互事之条、からめ取、前之主の所へ可相渡、若此御法度を相背、自然其もののがし候三付てハ、其一人の代ニ三人首をきらせ、彼相手之所へわたさせらるべし、三人の代不申付三をいてハ、不被及是非候条、其主人を可被加御成敗事

右条々、所被定置如件、

天正十九年八月廿一日

(豊臣秀吉朱印)

(小早川家文書)

- 問一 傍線部①について説明しなさい。
- 問二 傍線部②を読み下し文(漢字かな交じり文)に直しなさい。
- 問三 二箇条目を現代語訳しなさい。
- 問四 傍線部③を読み下し、すべて平かなで表記しなさい。
- 問五 右の法令を豊臣政權が颁布した歴史的背景を説明しなさい。

二〇二六年度 大学院(博士後期課程) 入学試験問題

(文学研究科 日本史学専攻)

(科目名:第2群 ④古典漢文(日本史学))

2026年2月23日(月)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

外国語筆答試験 (日本史学専攻) (4/4)

(四) 次の史料を読んで設問に答えなさい。

神仏各管長へ

凡制令規則ヲ設ル決シテ膠柱守株頑執可致モノニ無之時々国歩ノ適度ヲ斟酌損益候ハ勿論ニ付追追改正可相成件々モ可有之候得共差当リ今日施設上七年(一)第拾貳号達面ノ如キモ或ハ其趣旨ヲ誤認シ或ハ一辺ニ就テ其利弊ヲ論シ候者モ有之哉ニ相聞ヘ候仍テ今般々念左之通及聞示候条此旨能々相弁ヘ可申事

夫教導職ハ各自ノ教義ヲ以テ教導スル者ニテ其管長ハ其部内ノ教義ヲ掌握シ布教上ノ責任ヲ担当スルモノトス故ニ其部内教導職ノ進退専ラ具状申告ヲ得ル勿論ト雖トモ其等級与奪ノ政府ヨリスルモノハ即今日行政上ノ保護ニ出候筋ニ有之就テハ官吏ノ試験場ニ立会検査候儀モ専ラ行政上ノ事ニテ其宗学ノ淺深等級ノ甲乙ヲ鑑定スル主意ニ無之<sup>②</sup>抑政府ヨリ神仏各宗共信教ノ自由ヲ保護シテ之ヲシテ暢達セシムル以上ハ乃又之ヲシテ行政上ノ利益ナルモ妨害タラシメス以テ保護ノ終始ヲ完全スル是レ政府ノ教法家ニ対スル所以ニシテ而シテ其教法家ハ信教ノ自由ヲ得テ行政上ノ保護ヲ受クル以上ハ能ク朝旨ノ所在ヲ認め管ニ政治ノ妨害トナラサルニ注意スルノミナラス務ク此人民ヲ善誘シ治化ヲ進歩スルニ至ルヘキ是レ教法家ノ政府ニ報スル所以ノ義務ト謂フヘシ是以当省ヨリ授与セル<sup>③</sup>三条之教則モ行政上ノ事ニテ其試験立会ノ法ヲ設クル亦此教則ヲ授クルヨリ出候モノニ有之依テハ各管長ニ於テモ其教則ヲ奉体スルヨリシテ曩日十七説等ヲ以テ試験ノ課程取定度段何出即当省ニ於テ之ヲ聞届ケ七年(一)第三拾九号ヲ以テ各地方官ニ告達シ支拂スル処ナカラシムル次第ナリ故ニ立会官員其場ニ臨ムモ必竟布教上弊害ナキヲ証スル為メニテ敢テ其宗義ヲ屈抑スル筋ニ無之教法ヲ布ク者ト教法ヲ受クル者トヲシテ共ニ信教ノ自由ヲ完全ナラシムル保護ノ趣意ニ出候儀ト可心得事

(明治八年十一月二七日教部省口達書)

註 七年(一) 第拾貳号: 教導職試験に地方官員を立ち合わせることを規定

七年(二) 第三拾九号: 教導職試験として三条教則と一七説を課すことを規定

問一 傍線部①をすべて平仮名で記しなさい。

問二 傍線部②を現代語訳しなさい。

問三 傍線部③に示された「信教の自由」の概念の問題点について、知るところを述べなさい。

問四 傍線部④について、知るところを述べなさい。

二〇二六年度 大学院(博士後期課程) 入学試験問題

(文学研究科 東洋史学専攻)

(科目名:第2群 ④ 古典漢文(東洋史学))

2026年2月23日(月)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

設問 次の問にすべて答えなさい。なお、別紙の解答用紙には、必ず問題番号を記入しなさい。

問一 次の文について、(1)(2)に答えなさい。

乾隆戊戌歲瓜州浚河得南宋官印文曰宿州州院朱記初不解州院為何職後讀羅端良新安志乃知每州有州院與司理院皆刑獄之稱州院則兼事參軍主之司理院則司理參軍主之若州升為府則稱府院會稽志錄事參軍解舍在府治之西南府院在焉司理參軍麻舍在府治之南獄在焉

(清・錢大昕『十駕齋養新錄』卷十、州院)

- (1)書き下し文にしなさい。
- (2)内容の要点を適切に要約して述べなさい。

問二 次の文について、(1)(2)(3)に答えなさい。

海寇鄭廣陸梁雷福閩，驅賊兵屢雲亡命無不一當百官軍莫能制自號濱海蛟有詔勿捕命以官使主檣之延祥兵以徽南濱延祥隸帥闔廣且望趨府檣以其故所為儼贊次無與立譚者廣鬱鬱弗言一日晨人未衙檣傍偶語風聲或及詩句廣豐然起于坐曰鄭廣虜人欲有出詩曰之誰官可平來鬪耳乃長吟曰鄭廣有詩上來官文武看來總一般衆官做官却做賊鄭廣做賊却做官滿坐慚嘆書以初好誦此詩每日今天下士大夫愧鄭廣者多矣吾儕可不知自警乎

(宋・岳珂『程史』卷四、鄭廣文武詩)

- (1)書き下し文にしなさい。
- (2)現代日本語に翻訳しなさい。
- (3)題釋文の要点を適切に説明しなさい。

二〇二六年度 大学院(博士後期課程) 入学試験問題

(文学研究科 日本語日本文学専攻)

(科目名 第2群 ④ 古典漢文(日本語日本文学))

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2026年2月23日(月)

左の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

【引用部分は削除しています】

(『和漢三才図会』巻四十 佐類)

注 ○鉄物 Ⅱ 鉄製の道具。鎌や鍬など。 ○溪澗 Ⅱ 谷川。 ○凹 Ⅱ へこみがあり。  
○一菊 Ⅱ 「一擲」に同じ。ひとすくい。 ○夕陽 Ⅱ 夕方。  
○瓜茄 Ⅱ 瓜や茄子。 ○健夫 Ⅱ 血氣盛んな男。 ○水灣 Ⅱ 水の流れの湾曲したところ。  
○川だち男 Ⅱ 「川太郎」に同じ。

問一 ( A ) には、この文章に記される「川太郎」の別称が入ります。

カタカナでその別称を記しなさい。

問二 波線部 a ㄱ e の読みを、送り仮名のある場合は送り仮名を省略して、ひらがなで記しなさい。

二〇二六年度 大学院(博士後期課程)入学試験問題

(文学研究科 日本語日本文学専攻)

(科目名:第2群 ④古典漢文(日本語日本文学))

受験番号		氏名	
------	--	----	--

2026年2月23日(月)

問三 傍線部①「為人言」とはどういうことですか。説明しなさい。

問四 傍線部②「方鳩什矣」は、誰がどのような理由でそうなるのでしょうか。説明しなさい。

問五 傍線部③「且其手肱能遁脱左右、滑利故不能如之何也」を現代語訳しなさい。

問六 傍線部④「曹公」は歴史上実在したある人物の尊称です。その人物名を記しなさい。

問七 傍線部⑤「偶雖有捕之者、恐後崇放之」に返り点・送り仮名を付して記しなさい。たうえで、現代語訳しなさい。